

RAKUSAI POPS vol.2

新1年生座談会

今回のRAKUSAI POPsでは、新1年生の座談会の様子をお伝えします！ 洛西高校に入学して4ヶ月、どのように感じ、どのような高校生活を送っているのか、洛西生の「生の声」をお届けします！

森山 真琴
寺戸中学校出身
(吹奏楽部)
「可愛い鳴のカワウソ」が
大好きです

野村 朋香
櫻原中学校出身
(野球部マネージャー)
音楽を聞くことが好きです

足立 陽風
大原野中学校出身
(ソフトテニス部)
好きな動物はカワウソです



上山 太一
長岡第二中学校出身
(サッカー部)
Mrs. GREEN APPLEが好きです



小牧 晴竜
長岡第四中学校出身
(ハンドボール部)
お寿司（マグロ）が大好物です



高橋 謙太
勝山中学校出身
(バドミントン部)
サンマの塩焼きが好きです

Q. 勉強と部活動の両立はどのようにしていった？

足立：部活と勉強、意識を切り替えて、どちらかに偏らないようにした。

野村：部活で忙しかったので隙間時間を見つけたり作ったりして勉強した。

上山：お風呂の後など勉強する時間を決めて毎日勉強した。テスト週間に入ってからは少し増やした。

森山：吹奏楽部はテスト10日前から部活動が休みになったので計画をたてて勉強した。



Q. 洛西高校に決めた理由は？

小牧：学校説明会に参加した時、風景がきれいで自然が豊かでいいなと思った。自転車で通える距離がいい。

上山：第一志望ではなく学校説明会にも参加したことはなかったけど、先輩達に「楽しいで、面白いで」と言ってもらえた勇気づけられた。入ってとっても楽しくてよかったです。

野村：学校説明会に来た時、自習室や自習スペースがいいと思った。渡り廊下の自習スペースは風が当たり、自然も見えるのでいい。また姉が洛西出身で同じように野球部のマネージャーをしていて楽しそうに通っていたのを見て私も理想の高校生活を送りたいと思ったから。

高橋：距離的に自転車で行ける他の学校と迷ったが、洛西は自然に囲まれていて落ち着いて勉強できると思ったし、そういうアドバイスももらった。



高橋：すべての教室にプロジェクターと電子黒板があるのがいい。プロジェクターがあるとパッと出せるので効率よく、より分かりやすい授業が受けられる。

森山：図書館が気に入っている。明るくて広くて落ち着いた雰囲気が好き。

小牧：全部ではないが綺麗なトイレ。みんなが見るところが綺麗というのがいい。

Q. 中学校と高校の違いは何ですか？



高橋：担任主体ではなく生徒主体。中学なら先生が案を出してきてくれたが今は生徒が自分たちで案を集めて黒板に書いて、どれがいいかアンケートする…。社会に近づいてきている感じがする。

上山：学校規模のボランティア活動「洛再Links」で、ゴミ拾い、ペンキ塗りに参加したが、地域をきれいにでき、地域の人と交流もできた。

小牧：授業の進むスピード。何もせずに授業を受けると全然頭に入らない。予習→授業→復習のサイクルが大事になってきた。

森山：自由度が高い。スマホやお菓子の持ち込みはできるがその分自分で取る責任や管理が増えている。考えることが増えてきた。

Q. 受験を乗り越えるコツ、中3生へのアドバイスは？

高橋：入試問題に慣れること。定期テストとは全然違う。

足立：英語のリスニングは毎日聞いた。

数学の計算、古文の読み取りに力を入れた。自分が難しいと思うのは他の人も難しいと思うので焦らないように。



Q. 洛西高校の施設でいいところは？

足立：写真を撮るのが趣味なので中庭が好き。教室から見える緑と校舎と青空がきれい。

野村：得意な英語と国語で苦手な数学をカバーした。難しいと思うものは早めに取り組んで受験が近づいたら得意な教科の基礎から応用までを固めるのが大事だと思う。

小牧：過去問をやった。ポジティブシンキングで楽しみを見つけて、楽しいことをした分「じゃあ勉強しようか」と気持ちを切り替えた。

上山：ワークとかで解けない問題を明らかにした。解けない問題を勉強して解けるようにして次の模試や赤本で解いてみて、という繰り返しを何度もやって完璧にするようにした。受験の時は緊張しそうない。朝の健康管理を大切にした。



森山：苦手教科と得意教科をバランスよく勉強した。苦手教科は集中が続かないの得意教科の勉強に切り替えて集中し直すなどした。受験まで長いので、焦らずに、目標をたてて勉強した。

Q. 洛西高校のアピールポイントは？ 後輩たちへアピールしたいことは？

足立：先生に質問すると分かるところまで教えてくれる。授業外でも質問したら教えてくれる。

森山：自然豊か。先輩が優しい。進路のこと、勉強の事などを教えてくれる。

小牧：洛西独自の取組、Links、洛フェスなどが楽しみ。

野村：キャッチコピーの「一生懸命」だからこそ見えるものがあるその通りの学校だと思う。生徒も先生方も一生懸命で、新しい事にも挑戦でき、今まで続けてきたことを継続することもできる学校だと思う。



探究型学習

洛再発見創造 Links



Links同好会 会長
吉浪 隼斗



教科書は「地元地域」／目指すのは地域の「再発見」「再創造」
キーワードは「つながり=Links」（Local・Information・Network・Knowledge・Sustainable）

Links同好会 会長の吉浪さんに活動内容を教えてもらいました

洛再Linksとは

地域社会とのつながりの中で、洛西地域の良さを再発見・再創造しようという取り組みです。

地域社会とのつながりに加え、それぞれの取り組みも互いに「Link」しています。今年度は、新たに「Links同好会」が立ち上げられ、企画・運営にも生徒が携わるようになりました。活動は多岐に渡り、新聞やテレビなどにも何度も取り上げていただきました。



小畠川ほたるウォーク

小畠川が綺麗になったことで、ほたるが見られるようになりました。向日葵の苗作りで交流のあるリーガテラスの方や保護者の方と、ほたるを見に行きます。

ジャンタニバスターーズ活動

田んぼの厄介者・ジャンボタニシを捕獲し、堆肥にします。外来種による稻の被害を防ぎつつ、有効に活用する取り組みです。

竹イルミネーション

地域の竹を利用して、3年生の卒業を祝う竹イルミネーションを作ります。

清掃活動

新林池公園や大蛇ヶ池公園、小畠川の清掃やベンキ塗りを行います。また、近隣の小中学校と連携して、学校周辺の落ち葉拾いも行います。

落ち葉の堆肥化

集めた落ち葉を、米ぬかと竹チップを使って堆肥にします。その堆肥を「ひまわり畑プロジェクト」等に活用します。

ひまわり畑プロジェクト

堆肥を使って苗を育て、大原野の向日葵畑に植えます。向日葵が綺麗に咲く頃に、開花イベントを行います。

カブトムシ親善大使活動

いつの頃からか中庭の堆肥に住み着くようになったカブトムシたち。成虫のカブトムシを近隣の保育園・幼稚園にプレゼントします。



京都府立洛西高等学校

京都市西京区大原野西境谷町1丁目12-1・2
TEL.075-332-0555 FAX.075-332-0216

ホームページ

<http://www.kyoto-be.ne.jp/rakusai-hs/mt/>

